

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年																2020年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7	3	9	12	18
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9	0	9	7 (9)	4
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3	0	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5	0	4	2	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3	2	1	2	5
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4	0	5	3	2

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第4週(1月20日~1月26日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2					1		1
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	1	デング熱	1					1		
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1					
		梅毒	3				1		1	1
		百日咳	4	1	2					

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. インフルエンザ

定点当たり17.3人の報告があり、前週と比べてやや増加しました。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等も15件報告されています。

今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50~60%)の保持、人混みへの外出は避けるなどの対策を心がけましょう。

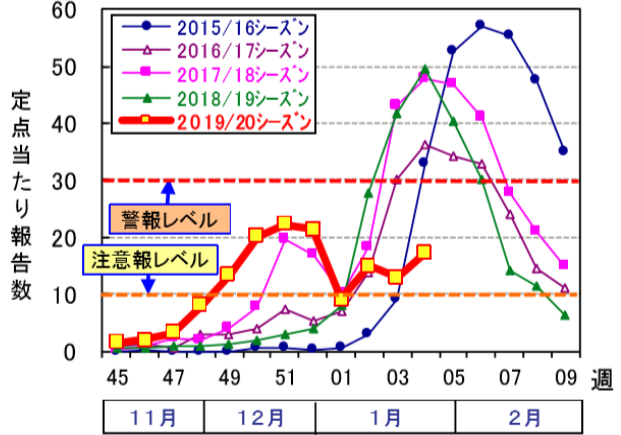
2. 感染性胃腸炎

定点当たり8.58人と、前週と比べてやや増加しました。また、感染性胃腸炎の集団発生が3件報告されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、特に冬季に流行するため、注意が必要です。

手洗いの励行、便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を徹底しましょう。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	639	17.27	43.38			流行性耳下腺炎	1	0.04	0.31		
	咽頭結膜熱	14	0.58	0.23			RSウイルス感染症	4	0.17	0.32		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	1.58	2.84			急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	206	8.58	7.35			流行性角結膜炎	1	0.13	0.48		
	水痘	16	0.67	0.50			細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	1	0.04	0.17			無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	10	0.42	0.42			マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.17		
	突発性発しん	6	0.25	0.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.43			

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	6	女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	男性(10歳未満)・O157
4	デング熱	1	1	男性(30歳代)・推定感染地域:国外

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(37.9) 丘疹	4	男	2019/12/22	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌
ヘルパンギーナ	発熱(38.0) 咽頭炎	0	男	2019/11/18	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA10型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 流涙 眼痛	26	男	2019/12/08	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の発疹性疾患	発熱 紅斑 上気道炎	0	女	2019/12/14	咽頭拭い液 鼻汁	RSウイルス
その他の疾患	発熱(38.9) 黄疸	0	男	2019/11/20	咽頭拭い液 糞便	エコーウイルス30型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載